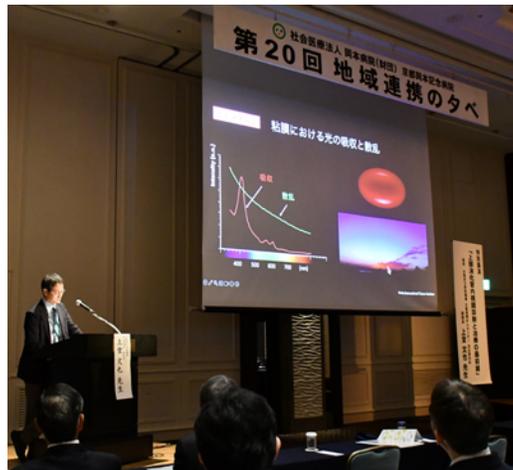


地域医療連携だより



院内外の医療従事者が交流 第20回 地域連携の夕べ

京都岡本記念病院主催の「地域連携の夕べ」を10月12日、京都市のホテルオークラ京都で開催いたしました。地域の医院・病院とのつながりを深めることを目的に毎年開催しており、広い地域から医師、歯科医師など81施設128人にご参加をいただきました。

第1部 消化器疾患をテーマに講演会

◆内視鏡診断と治療の最前線

第1部では京都岡本記念病院 消化器内科 宮田正年主任部長を座長とし、大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 消化管内科 副部長の上堂文也先生に「上部消化管内視鏡診断と治療の最前線」についてご講演いただきました。上堂先生は早期がんに対する画像診断の進歩やガイドライン拡大の最新情報について



京都岡本記念病院
消化器内科
宮田正年 主任部長

高精細な画像で示し、「最新の治療は地域の先生方との連携が不可欠」と強調されました。質疑応答では「粘膜下腫瘍の内視鏡切除の今後の適用拡大について」「最新機器のない地域のクリニックなどで早期胃がんを検出するには？」などの質問もあり、活発な意見交換となりました。



大阪国際がんセンター 上堂文也先生

◆「ぜひご紹介 ご利用ください」 ～消化器内科・消化器外科・くみやま岡本病院を紹介～



京都岡本記念病院
消化器内科
中瀬浩二郎 部長



京都岡本記念病院
消化器外科
福田賢一郎 部長

続く当院の紹介では、消化器内科 中瀬浩二郎部長が同科の守備範囲の幅広さをアピールし、ご紹介患者さんの利便性を高めるための「下部内視鏡前処置外来」について説明しました。消化器外科 福田賢一郎部長は低侵襲をモットーにロボット支援手術を積極的に取り入れていることを話しました。高木敏貴院長は、2025年4月に開院予定の「くみやま岡本病院」について動画を使って紹介。隣接する京都岡本記念病院とは一体運営で急性期から回復期まで切れ目なく診療を行えること、新興感染症のパンデミックの際には、感染症に対応できる設計になっていることを解説しました。また、京都岡本記念病院にある健診センターが新病院内に拡充・移転するので「ぜひご利用ください」と呼びかけました。



くみやま岡本病院

裏面へ続く→



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)

第2部 懇親会

◆和やかな歓談で連携を深める

懇親会では、堀内房成宇治久世医師会会長から「今後、高齢者医療、在宅医療がますます重要となるなか、病院と地域の先生が顔の見える関係を構築し、手を携えて地域の医療を推進していこうではありませんか」とごあいさついただきました。

安田美希生綴喜医師会会長は、同日に行われた医師会主催の市民向け健康講座で、京都岡本記念病院 腎臓内科 劉和幸部長が講師を務め好評であったことや、「住民、医師会、京都岡本記念病院のつながり」について触れられ、力強く乾杯のご発声をいただきました。

乾杯後、会場は終始和やかな空気に包まれました。診療に関する意見交換から打ち解けた談笑まで、各所で話に花が咲き、交流が深まった様子がうかがえました。

ご参加いただいた皆さま ありがとうございます。今後も地域連携を深める機会をさまざまに企画してまいりますので、よろしくお願いいたします。

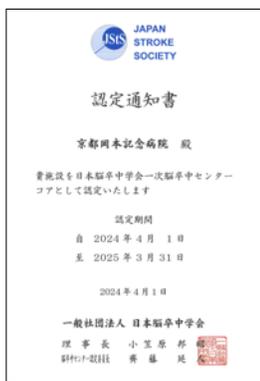


宇治久世医師会会長
堀内房成 先生



綴喜医師会会長
安田美希生 先生

京都岡本記念病院 「一次脳卒中センター (PSC) コア」に認定



京都岡本記念病院が一般社団法人日本脳卒中学会から「一次脳卒中センター (PSC: Primary Stroke Center) コア」に認定されました。当院は既に「一次脳卒中センター (PSC)」に認定されていましたが、今回はさらに右記の認定基準を満たしてコア施設に認定されました。

- 一次脳卒中センター (PSC) に認定されていること
- 日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と3学会認定の脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上であること
- 血栓回収治療実績が年間12例以上あること
- 自施設において24H/7Dで血栓回収治療に対応可能であること
- 脳卒中相談窓口を設置すること

今後も「断らない脳卒中治療」をモットーに、地域における脳卒中治療の中心的役割を担ってまいります。



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)